

2018.6.8 名勝奈良公園内高級ホテル建設問題のその後について

現在、奈良では世界遺産のバッファゾーンで文化財保護法で指定された名勝奈良公園の 2ヶ所の吉城園(よしきえん)地区、高畑(たかばたけ)地区に高級ホテルを建設する計画が進められ、問題となっています。日本ひいては世界の文化遺産の今後の保全・活用のありかたに大きな影響を与えるものであり、今後も注目していきたいと考えております。

■同問題の詳細は下記をご覧ください

★古都・奈良の文化遺産を守る会、<http://nara-bunka.jugem.jp/>

★奈良公園の環境を守る会・高畑町住民有志の会、<http://www.nara-park-mamoru.jp/>

■各所の主な動き (2017年10月～2018年3月、☆印の詳細は下記(B)の会のHP参照)

(A)古都・奈良の文化遺産を守る会の活動

☆(B)奈良公園の環境を守る会・高畑町住民有志の会の活動

☆2018.3/26 奈良公園の環境を守る会・弁護士、奈良市庁にて「奈良公園内のリゾートホテル建設計画」の即時中止を求める口頭意見陳述を行う

2/14 日本イコモス国内委員会の提言が新聞各紙に掲載される

2/08 日本イコモス国内委員会、「名勝奈良公園における2地区の整備活用事業に関する提言」を奈良県知事、奈良県教育委員会に提出、2/14 発表 <http://www.japan-icomos.org/news.html>

☆2017.12/25 奈良公園の環境を守る会、弁護士、意見書を県知事に提出

☆12/19 公益財団法人 日本自然保護協会、文化庁長官・県知事に意見書を発表

☆12/05 新建築技術者集団奈良支部、「奈良公園に高級宿泊施設を建設する計画についての意見表明」を県知事に提出

☆10/06 (公財)世界自然保護基金ジャパン(WWF ジャパン)、「歴史的文化遺産等および生物多様性に対する真摯な対応を取るよう強く求める要望書」を県知事に提出

☆10/05 奈良公園の環境を守る会弁護士、市長に対し、奈良県に提出した高畑町裁判官官舎跡地のリゾートホテル開発許可処分を取り消しを求める審査請求書を提出

■2018年5月7日 古都・奈良の文化遺産を守る会 署名と要望書提出

同会は、名勝・奈良公園内に県が計画するホテル建設に対する要望書と第三次の反対署名 859人分を県奈良公園室に提出しました。これまで県に提出した署名は累計 4190人分になりました。

高畑町の松林院跡のホテル予定地については、これまでに十分な調査が実施されていなかったため、文化遺産、自然の調査をもれなく行うよう、また、県庁隣りの吉城園地区のホテル予定地については、文化財としての価値が高いと考えられる県知事公舎の専門家による調査を十分に行うよう改めて要望しています。

■5月22日 同会、連続学習会開催

同会では、奈良公園内ホテル建設問題と、新たに起こってきた平城宮東の京奈和道の地下トンネル建設問題とを取り上げた、第8回奈良の自然・文化遺産連続学習会「古都・奈良に地下トンネルの高速道路も名勝内高級ホテルもいません」を開催しました。

■今後について

ホテル建設の工事着工は当初今年1月の予定でしたが、現時点でも未着手の状態です。

★吉城園地区

副知事公舎は十分な調査が行われぬまま、すでに取り壊されました。現在、前述のように古都・奈良の文化遺産を守る会が県知事公舎の専門家によるキチンとした調査を申し入れているところです。

★高畑地区松林院跡地

同地にホテルを建設するためには奈良市の承諾が必要ですが、そのうちいくつかの項目は住民合意を必要としており、奈良市の今後の動きが注目されます。